

● 活動目的

ボランティア室は、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの基本方針に基づいて、病院ボランティアにより患者さんが安らげる療養環境作りと地域社会に寄与することを目的として、平成17年に設立されました。

病院ボランティアは、病院の医師、看護師、その他の職員と協力して、患者さんに寄り添い、患者さんがもつ不安を軽くすることによって安心して治療を受けることができるよう、自発的に無償で、病院を利用する人のためにサービスを提供する人で、ボランティアの皆様には専門職ではなくてもできる仕事のお手伝いを行っていただいています。

● 活動状況

ボランティアの皆さんには、活動内容の中から、ご自分ができるところを選択し、継続して活動していただけることを期待し、次のような活動を月曜日から金曜日の間(祝日除く)で行っていただきました。

- ・院内への案内
- ・受付の援助
- ・車椅子の介助
- ・入院児童への絵本の読み聞かせ
- ・環境整備
- ・縫製 等

新規メンバーについては随時募集しており、今年度 2 名の方が新規に加入して下さいました。引き続き、新規のメンバーを広く募集中です。

また、病院でのボランティアを通して、病める人へのケアのまなざしを深め、女性が家庭や社会で子育て、介護などにあたるためにも有意義な機会とし、病いと向き合う人々への理解を深め、一人ひとりの病者への優しさ、ケア、共生の精神を培うことを目的とするノートルダム清心女子大学からの学生ボランティアを2018年より受け入れを開始し、2019年も33名の学生ボランティアを受け入れました。

2019年度においては、ボランティアの皆さんが安心して参加していただけるよう、ボランティアを支えるボランティアコーディネーターを採用し、組織として支援できる体制を整備いたしました。